

令和7（2025）年度第2回大田原市立小中学校教科用図書選定委員会 会議録

会議名称 令和7（2025）年度 第2回大田原市立小中学校教科用図書選定委員会

日 時 令和7（2025）年7月15日（火） 午前9時30分開会 午前9時58分閉会

会 場 大田原市役所102会議室

出席者

●選定委員

●事務局

氏 名	役 職	氏 名	役 職
篠山 充	教育委員会教育長	君島 敬	教育部長
小林 朋子	教育委員会教育委員	萩原 孝夫	学校教育課長
菊地 孝行	区長連絡協議会副会長	植竹 勉	学校教育課学校教育係長
江連 悦子	大田原市小中学校長会長	新井 智幸	学校教育課指導主事
津久井裕美子	PTA連絡協議会	内海 知恵	学校教育課指導主事
大豆生田忠勝	PTA連絡協議会		

欠席者：越井二郎 大田原市自治公民館連絡協議会長

事務局：おはようございます。定刻になりましたので、ただ今から、令和7年度第2回大田原市立小中学校教科用図書選定委員会を開会いたします。本日の委員の皆様の出席状況ですが、要項1ページに委員の皆様の名簿がございますが、4番の越井二郎様が欠席となっておりますので、よろしく願いいたします。では、はじめに、篠山会長より御挨拶を申し上げます。

会 長：皆様、改めましておはようございます。本日は、大変お忙しいところ、本市の第2回小中学校教科用図書選定委員会にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

さて、本日の会議は、調査員より調査結果の報告を受け、明日の教育委員会への答申内容を検討する会議になります。調査員は、本市の子どもたちの実態に基づき、どの教科書が良いかという観点で調査研究をしております。本日はその調査結果に基づいての選定をお願いいたします。

なお、本会議は前回の会議で確認しましたが、大田原市立小中学校教科用図書選定委員会設置要綱第7条により、選定委員会による協議は公開、調査員の報告及び選定委員会による議決は、非公開とさせていただきます。どうぞ本市の子どもたちのために、最も適した教科書の採択を答申できますよう、慎重なる御審議をお願いいたしまして、私の挨拶とさせていただきます。よろしく願いいたします。

事務局：続きまして、3番の調査結果の報告となりますが、本日、傍聴人はおりませんので、このまま続けさせていただきます。報告に入る前に、事務局から連絡がございます。

事務局：本日の資料について確認いたします。要項と資料が1～3まであります。これらの資料につきましては、本日の会議終了後に回収をさせていただきます。次に、本日の流れにつきまして確認いたします。要項表紙を御覧ください。このあと、3の調査結果の「報告・質疑、協議、議決」に入ります。まず、「報告・質疑」についてですが、調査員からの「報告・質疑」は非公開です。特別支援学級用図書について小・中それぞれの調査員代表から、採択を希望する一般図書の特徴や採択を希望する理由について「報告」があります。報告をお聞きいただいた後、「質疑」の時間を設けますので、皆さんから、報告の内容やその他疑問点について質問をしていただきます。そのあと、調査員が退室いたしますので、委員の皆さんには、「協議」をしていただきます。「協議」は公開で、傍聴人が入室します。選定委員の方々による意見交換の時間となります。本市の児童・生徒が使用するにふさわしい教科用図書についての御意見をお願いいたします。

「協議」のあとは、「議決」をします。非公開です。傍聴人は退室します。

次に、要項2ページ「特別支援学級の教科用図書採択・使用上の注意」をご覧ください。1採択・使用の原則の2行目途中からです。「学校教育法附則第9条の規定により、小・中学校の特別支援学級で特別の教育課程による場合において、教科により当該学年の検定済教科書を使用することが適当でないときは、他の適切な教科書を使用することができることとなっている。」とあります。そのことについてさらに、2の(5)をご覧ください。「検定済教科書の下学年用及び、文部科学省著作教科書を使用することが不適当な場合にあつては、絵本等の一般図書を教科書として採択・使用することができる。」となっています。本日は、この「一般図書」を選定していただきます。

要項3、4ページをご覧ください。表の一般図書の欄にある丸印(○)のついている図書に関しては、現在も大田原市の特別支援学級において使用しているものです。四角印(◇)のものが今年度新たに調査研究した一般図書です。本日はこの四角印の図書を中心に代表者から報告があります。私からは以上です。

事務局：では、このあとの進行は会長にお願いいたします。

会長：それでは、ここからの進行は、私の方で進めさせていただきます。

会長：はじめに、小学校特別支援学級用教科用図書についての報告でございます。調査員の先生の入室をお願いいたします。

会長：それでは、調査内容についての報告をよろしく申し上げます。

調査員：令和8年度使用小学校特別支援学級用教科用図書につきまして、調査結果を報告いたします。要項の3、4ページの「令和8年度使用小学校特別支援学級用教科用図書一覧表」の一般図書とある枠内をご覧ください。全部で32冊について調査研究いたしました。今回の調査では、今まで使用していた図書に6冊を取り入れ、9冊を削除いたしました。新たに取り入れた図書は、「国語」「書写」「社会」「音楽」「図工」「外国語(英語)」の各1冊で

す。四角の印(◇)が付いています。変更のなかったものについては、説明を省かせていただき、新たに取り入れた図書6冊と削除した9冊について説明いたします。

初めに、国語科について説明いたします。昨年度、採択されていた「わらべきみかのことば絵本」は供給不能、「きくきくドリル STEP1 はじめて編」は、供給が在庫限りのため削除いたしました。新たに取り入れたのは、金の星社「たべものあいうえおのえほん」です。本書は、平仮名が1ページに大きく一文字ずつ取り上げられており、隣のページには日常生活に即した身近な食べ物のイラストが描かれています。平仮名の読み書きだけでなく、文字に関連する言葉が覚えられるよう工夫されています。教師と一緒に見ながら、文字を読んだりなぞり書きをしたりすることができ、色彩豊かなイラストが掲載されているので、個人差や能力差、児童の興味・関心に応じることが出来ます。

次に、書写について説明いたします。昨年度は、「小学生のためのきれいな字になるワーク ひらがな・カタカナ・漢字」が採択されていましたが、児童の実態を踏まえ、内容として高度であると判断したため削除いたしました。新たに取り入れたのは、こぼと教材出版「発達支援教育教材 初級編 ステップアップマッチングⅠ」です。本書は、平仮名の学習につながるよう、手先の巧緻性を高める動きや、運筆の練習が取り上げられており、文字学習の基礎として活用することができます。1ページごとで集中しやすく、書き込みやシール貼りの形式になっているため、鉛筆を持って書くことが難しい児童にも対応し、個人差や能力差に応じて活用することができます。色彩にも工夫があり、児童が興味・関心をもって楽しみながら学習できる内容となっています。

次に、社会科について説明いたします。新たに取り入れたのは、くもん出版「小学1・2年生のうちに『しゃかい』の見方・考え方が楽しく身につく本」です。昨年度は、「さがしてみよう！マークのえほん 改訂版」が採択されていましたが、児童の発達段階に合った内容で、多様な視点で学習ができると考えたため、こちらを取り入れました。

本書は、児童の発達段階に即して無理なく学習が進められ、基礎知識も身につくように構成されています。また、シール貼りなどもあり、楽しく学習できるよう工夫されています。文字も見やすくルビも付いており、イラストや写真が適切に配置され、視覚的にとらえやすいため、児童が興味・関心をもって学習に取り組むことができます。

次に、音楽科について説明いたします。昨年度は、「DVD でひける！はじめてのピアノえほん1 たのしいピアノのおけいこ」が採択されていましたが、児童の実態を踏まえ、内容として高度であると判断したため削除いたしました。新たに取り入れたのは、ポプラ社「どうようだいしゅうごううたえほん」です。本書は、季節や行事の童謡や児童に人気の曲など、身近で親しみやすい15曲が取り上げられています。文字は見やすく、色彩も豊かで児童に親しみやすいイラストで、楽しく歌ったり表現したりすることのできる内容となっています。

次に、図画工作科について説明いたします。昨年度、採択されていた「1日3分でおえかきじょうずになる本」、「NHK ノージーのひらめき工房 レッツ！工作ピクニック」は供給不能ということで削除いたしました。新たに取り入れたのは、学研「あそびのおうさま BOOK はじめてぬる本」です。本書は、身近で簡単に表現できる題材が掲載されており、児童のイメージを広げながら作品を完成することができるよう構成されています。一つの題材について1ページ、または、見開き2ページでまとめられ、塗ったり描いたりする内容が交互に出てくるため、飽きずに取り組む

ことができます。文字は見やすい大きさと、絵の描き方も簡潔に示されています。はみ出すことを気にせずに取り組むことができるページもあり、描くことの楽しさや喜びを味わうことができる内容になっています。

次に、家庭科についてですが、昨年度、「絵でわかるこどものせいかつずかん3おでかけのきほん」が採択されていましたが、多様な視点や情報を提供できる内容ではないと判断し、削除いたしました。

次に、外国語（英語）科について説明いたします。昨年度は、「CD 付き英語カード あいさつと話しことば編」が採択されていましたが、児童の発達段階に合わせて使用することが難しいと判断したため、削除いたしました。新たに取り入れたのは、新興出版社「おうちレッスンえいご3リズム♪でおぼえるえいかいわ」です。本書は、身近な英単語や挨拶、生活場面に沿った会話の表現が示されており、付属のCDでリズムに合わせて繰り返し練習することで、楽しく学習することができます。場面に即した親しみやすいイラストが用いられ、英語には、発音の参考となる読み方が片仮名で表記されており、学習に取り組むやすい工夫がなされています。また、QRコードが添付されており、タブレットを使って一人一人の教育的ニーズに応じた指導ができる内容となっています。

以上の6冊が、令和8年度使用小学校特別支援学級用教科用図書として、新たに取り入れた図書です。全32冊、小学校特別支援学級用教科用図書として、心ざわしいと思われる図書について調査研究し、資料としてまとめましたので、御審議をよろしくお願いいたします。

会 長：ありがとうございました。それでは、ただ今、報告いただきました内容について、委員の皆様方から御質問等ありましたらお願いしたいと思います。

委 員：ありません。

会 長：よろしいですか。それでは、調査員の先生、ありがとうございました。

会 長：続きまして、中学校特別支援学級用教科用図書についての報告になります。調査員の先生の入室をお願いいたします。

会 長：それでは、よろしくお願いします。

調査員：令和8年度使用中学校特別支援学級用教科用図書につきまして、調査結果を報告いたします。要項の5、6ページの「令和8年度使用中学校特別支援学級用教科用図書一覧表」の一般図書とある枠内をご覧ください。全部で33冊について調査研究いたしました。今回の調査では、今まで使用していた図書に追加して、新たに道徳1冊を取り入れました。新たに取り入れた図書には、四角の印（◇）がついています。変更のなかったものについては、説明を省かせていただき、新しく取り入れた図書について説明いたします。

「私たちの未来 未来の私たち」について説明いたします。この図書は、中学校道徳科 22 項目について、日常での出来事を中心に、生徒が自分のこととして考えることができる題材を掲載しています。4 ページの目次には、生徒が学校生活や社会生活を営む上で経験する内容、例えば、文化祭や委員会活動について、また、将来の就労についての題材の掲載があります。これらの題材の中には、64 ページのようにキャリア教育や自己権利擁護についても触れられ、将来の生き方を想像することができます。題材の次の見開き 2 ページには、挿絵が入るフルカラーのワークシートがついています。挿絵や色でわかりやすく提示することで、題材に関する自分の考えを整理し、自分はどんなことができるかを主体的に考えていける工夫があります。今回、道徳の教科書としてふさわしいと思われる 3 冊の図書を調査研究いたしました。【絵でわかるこどものせいかつずかん 4 おつきあいのきほん】で、視覚的に学び、【みんなのためのルールブックあたりまえだけど、とても大切なこと】で、人と関わる際のスキルを学び、本書において、学校生活や社会生活の場面において具体的にイメージして学習を進めることで、効果的に学ぶことができるのではないかと思います。

加えて、110 ページには、教材配列一覧において、中学校学習指導要領道徳科の 22 項目について、どの題材が該当するか示されており、評価につなげやすいと考えました。また、ホームページにはすべての題材について指導案事例が示されているため、実効性が高く質の高い道徳の授業が期待できると判断しました。

全 33 冊、中学校特別支援学級用教科用図書としてふさわしいと思われる図書について、調査研究し、資料としてまとめましたので、御審議をよろしくお願いいたします。

会 長：ありがとうございました。それではただ今、御報告いただきました内容について、委員の皆様方からの何か御質問などがありましたらお願いしたいと思います。

委 員：ありません。

会 長：よろしいでしょうか。それでは、質問が内容ですので、次に進みます。  
調査員の先生ありがとうございました。

会 長：それでは、続きまして協議になります。

会 長：特別支援学級の教科用図書について、御意見等がございましたらお願いしたいと思います。

委 員：事務局への質問になってしまうかもしれませんが、今回の選定委員会の趣旨と違うのであれば御回答いただかなくても大丈夫です。教科書センターで見させてもらい、素朴な質問になるのですが、特別支援学級の授業の進め方はどのようになっているのかというのを教えていただければと

思います。通常の学級と同じように集合で先生が教えてくれているのか、個別で一人一人に合わせて教科書を選定して授業するのか、そのあたりを教えていただければと思います。

会 長：事務局からでよろしいでしょうか。特別支援学級の授業の進め方ということで、どのように進めているのかということです。

事務局：特別支援学級につきましては、個別に教育課程を編成しております、一人一人に合わせた形で授業を実施しております。ですので、通常学級のように一斉ではなく、原則個別で実施しております。

委 員：ありがとうございます。

会 長：よろしいでしょうか。その他ございますか。

委 員：感想になってしまいますが、私も那須庁舎に行ってみせていただきました。そこにはとてもたくさんあったのですが、今日は説明を聞いて、特に小学校については1年生から6年生まで幅広い学年なのでそういう意味でそれぞれの個人差もあるし、無理なく楽しく学べるようなものを今回選んでくれているのかなと思いました。

会 長：はい、ありがとうございました。その他、いかがでしょうか。

委 員：私も見に行きました。算数、数学などは、私たち大人でも結構難しいと思うものがあり、支援学級の子供たちはどうやって学習していくのかなと思っていました。参考にさせていただきました。

会 長：はい、ありがとうございました。その他、いかがでしょうか。

委 員：今、お話を聞いて、調査員の先生方、本当にきめ細かに見てくださったなということがわかりました。特別支援学級の子供たちを見ていると、その中でも能力差や個人差があって、この教科書を選んでも、その全部をやるわけではなく、その中でその子の特性に応じて使う教材を決めてやっていくと思うのですが、色彩が豊かであったり、シールを貼ったりというのは、本当に子供たち食いつきが良くて、楽しく学んでいるなど感じているので、今回も理由の中にそういう言葉がたくさん入っていて、とてもいいなと思いました。それと今、貸与パソコンが一人一台、大田原市さんからいただいているので、それもすごく使っています。ほとんど毎時間授業で使っているし、特別支援学級のお子さんたちも使っている、教科書プラスICTを活用したものを同時にやっている、さらに効果が上がるのかなと思いました。先生の立場からいうと、先ほど中学校の方で指導案がついているというところがあったり、QRコードを読み込んだりするものもあったりしたのですが、指導する側も授業の流れがある程度が分かるものがあると使いやすいと思っ

たので適切だなと思いました。

会 長：はい、ありがとうございました。よろしいですか。

それでは、小学校特別支援学級の教科用図書については、先ほど御報告いただきました新たな6冊を加えるということによろしいでしょうか。

委 員：はい、結構です。

会 長：それでは、小学校特別支援学級の教科用図書については新たな6冊を加えた 32 冊を認めるということにします。

会 長：中学校特別支援学級の教科用図書については、新たに1冊を加えるということによろしいでしょうか。

委 員：はい、結構です。

会 長：それでは、中学校特別支援学級の教科用図書については新たに1冊を加えて 33 冊を認めるということにしたいと思います。ありがとうございました。

すべての選定が終了しましたので、私の進行は以上で終了いたします。本日選定されたものを明日開かれまます教育委員会に答申をさせていただきます。それでは、進行を事務局に戻します。

事務局：委員の皆様、御協議ありがとうございました。会長からもございましたとおり、本日の内容ですが明日の教育委員会に答申をいたします。

以上で、令和7年度第2回大田原市立小中学校教科用図書選定委員会を閉会とさせていただきます。大変お疲れさまでした。